

学科 学年	2年	科目 分類	国語 Japanese II	講義 演習 必修	通年 2単位	学習教育 目標 1-A~E	担当	大石加奈子 OISHI Kanako
概要	21世紀の複雑化するコミュニケーション社会に対応していくために必要な言語能力を養成する。教材としては、高校新課程の教科書（現代文・古文）に取り上げられている作品を多く用いる。情報化社会に生きる現代人として必要な読解力をつけるために、文章を正確に理解するうえでの大切な基礎事項を身につけ、最も国語力が必要とされる記述問題を解く方法と手順を学んでいく。思考とは不可分である「言葉」に対する自覚を高めることにより、無理なく論理的思考力や表現力を豊かにしていく。							
科目目標 (到達目標)	学習・教育目標 教養科目の目標は、学生に以下の知識・能力を修得させることにある。 (A) 広い視野から社会を理解する能力 (B) 工業技術を学ぶうえで基礎となる知識・能力 (C) 国際的に通用するコミュニケーション能力の基礎及び異文化を理解する姿勢 (D) 積極的に新しい知見を求め、様々な手段を通して必要な知識を収集する能力 (E) 社会で活躍できる心身の健康を増進していく力及び豊かな感性と表現力							
教科書 器材等	教材 プリント配布							
評価の基準と 方法	適宜、作文を課す。定期試験を行なう。 定期試験の平均成績を80%、授業への積極姿勢を20%として評価する。							
関連科目	文学特論							
授業計画								
第1回	国語を学ぶ意義	予習、復習のしかた	授業の受け方					
第2回	表現 魅力ある小論文を書くために	書き方の基礎						
第3回	現代文を読む	文学的散文	1 語句の理解					
第4回		文学的散文	2 段落の区分					
第5回		文学的散文	3 人物の把握					
第6回		文学的散文	4 主題の把握					
第7回		文学的散文	5 表現の分析					
第8回	定期試験							
第9回	表現 魅力ある小論文を書くために	自分の考えを見つけること						
第10回	現代文を読む	論理的散文	1 語句の理解					
第11回		論理的散文	2 段落の区分					
第12回		論理的散文	3 論の展開の把握					
第13回		論理的散文	4 要旨の把握					
第14回		論理的散文	5 叙述の分析					
第15回	定期試験							
第16回	表現 魅力ある小論文を書くために	自分の意見を読み手に伝えるための説得力ある理由を考える						
第17回	韻文を読む	詩を読む						
第18回		短歌を読む						
第19回		俳句を読む						
第20回	古文を読む	説話	宇治拾遺物語					
第21回		物語	竹取物語					
第22回	定期試験							
第24回	表現 魅力ある小論文を書くために	疑問から考えを広げる						
第25回	小説演習							
第26回	小説演習							
第27回	評論演習							
第28回	評論演習							
第29回	詩演習							
第30回	定期試験							
オフィス アワー								
備考	教材を変更することもある							

